



群馬県前橋市・桐生市における豚熱発生を踏まえた 今後の発生予防対策について

第84回牛豚等疾病小委員会及び第16回拡大豚熱疫学調査チーム合同検討会において「豚熱64、71、73、74例目調査報告・疫学検討結果」及び「群馬県前橋市・桐生市での豚熱発生状況を踏まえた提言」がまとめられました。https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/eisei/usibuta_sippe/84/211207.html

養豚農家向け発生予防対策

1. 農場周囲の消毒等

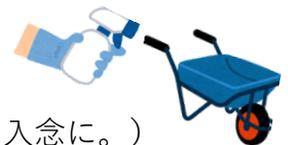
- ①農場周囲の餌場となりやすい場所や雑木林及び河川などのししが隠れる場所の伐採・整理整頓
- ②柵外側の定期的な消毒等により農場周囲に、いのしし・ウイルスを近づけない
- ③農場内へのウイルス侵入を想定した衛生管理区域内の定期的な消毒の徹底

2. 離乳舎における衛生管理

(1)豚舎に出入りする際にウイルスを持ち込まない衛生対策

- ①畜舎内用の長靴への履き替え(スノコや台で物理的に区切る。)
- ②畜舎内用衣服への更衣(使用後に洗浄消毒しておくことが重要。)
- ③畜舎立入り時の手指消毒(消毒スプレーはボトルも消毒。手袋は軍手ではなくゴム手袋等非浸透性のものを使用し、使用後に洗浄消毒。)
- ④畜舎に持ち込む資材の消毒

ワクチンのみで
感染を防ぐことは
できません!



(地面に触れるタイヤ回りだけではなく、全体を消毒。特に持ち手は入念に。)

(2)ネズミ等の侵入防止

豚舎の壁や天井、扉、換気扇など隙間がしやすい場所の点検及び修繕
殺鼠剤やネズミ捕りマットの設置 → 改善されない場合は外部専門家に依頼を!

3. 消毒液濃度及び交換頻度

冬季の低い気温や有機物の存在を前提に、適切な濃度の消毒薬を使用する
踏込消毒槽は少なくとも1日1回は交換する
外部から持ち込む物品は全体を消毒する

